

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

総合体育館改修 市民の願いは 市民の暮らしと尊厳守って 市議会11月定例会はじまる

平和・命・物価高騰 市議団が論戦 松江市議会11月定例会開会

11月28日、松江市議会11月定例会が始まりました。会期は12月20日までの23日間です。初日の本会議では、総額21億5816万円の一般会計補正予算案や、松江市総合文化センター大規模改修工事のインフラスライド条項に基づく増額に関する変更契約、小泉八雲記念館やプラバホールなど49施設の指定管理者指定、松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例の一部改正など48議案が提案されました。

補正予算案は、市役所新庁舎建設事業費が「スライド条項」により3億9000万円



松江市議会本会議場

3年および5年の大雨災害の復旧費として4735万円などです。また、松江市総合体育館の改修整備管理運営事業費として、実施設計、改修工事、維持管理・運営などに係る費用として42億2247万円の債務負担行為の設定が提案されました。

補正後の一般会計予算総額は、前年度同期比4・8%減の1083億8600万円となります。

一般質問は4日から6日まで行われ、共産党市議団舟木けんじ、たちばなふみ両市議員は6日に質問しました。質問項目は以下の通りです。

- ◆ たちばなふみ市議員
- ① 美保基地と平和



たちばなふみ市議会議員

- ② 原発汚染水放出と島根原発
- ③ 気候変動・猛暑・大雪対策
- ④ 医療や保育の現場へ物価高騰支援を
- ⑤ ガス局の民営化について
- ⑥ 再エネビジョンとメガソーラー
- ⑦ 子どもの意見を尊重する松江へ
- ⑧ 赤貝と中海振興

◆ 舟木けんじ市議員

- ① 不登校支援について
- ② 措置制度である養護老人ホームについて
- ③ 障がいがある方の参政権の保障について



舟木けんじ市議会議員

(詳細は次号より順次紹介)

初日には閉会中審査となっていた陳情「議会議録のWebサイト公開」について採決が行われ、共産党市議団以外の賛成多数で不採択となりました。共産党市議団を代表して舟木市議員が「松江市議会は議事録公開の迅速化に取り組んでおり、本会議以外の委員会の中継についても試験や

社会の歩みに人生を重ねて⑨



こむらえり補院予定候補

皆さんの中にも、動物と暮らしているのではありませんか。私も17才になる老猫と暮らしています。母猫が事故に遭い、命を落としたその傍で鳴っていた子猫。その子猫を、

セラピーアニマルと猫と暮らして

衆院島根一補区

村穂 江利子

皆さんの中にも、当時小学生だった長男が拾ってきたことがきっかけで、猫との暮らしが始まりました。その後、子どもたちが進学や就職で家を離れる中、私はこの「ミークン」との関係性を強めてきました。こちらの意のままにはならない猫の生態ながら、その存在は、今や私にとっての「癒し」そのものとなっています。

生活する中で、多かれ少なかれ心に負荷がかかることはどなたにもあることでしょう。そんな時、私たち人間と喜怒哀楽を共有出来るような、情

緒性の高い動物と触れ合うことは癒し効果も高いと、私自身、実感しています。

今、医療や福祉の現場で「アニマルセラピー」が取り入れられています。ここでは人と動物は対等です。命ある、同じ生き物として通じ合う感覚。共通言語はなくとも、お互いを認め合うことで生まれる、リラクゼーション効果。根底にあるのは安心と信頼。人と人もそうでありたい。そうあるべき努力を惜しんではいけません。そんな私の想いを受け止めてくれる、可愛いビー玉のような澄んだ瞳が、今日も私をじっと見守り、励ましてくれています。

生活する中で、多かれ少なかれ心に負荷がかかることはどなたにもあることでしょう。そんな時、私たち人間と喜怒哀楽を共有出来るような、情



たちばな市議とサポーターの皆さん



舟木市議とサポーターの皆さん

子ども殺すな ガザ攻撃中止を!

市内各地で市議と講演会の皆さんがスタンディングアピール

検討を行っており、陳情の趣旨と議会の検討の方向性は一致している」として採択するよう求めました。